

下田小だより

平成30年 7月 4日 号
文責 久留米市立下田小学校
校長 平塚 宏子

1学期も、残り2週間余りとなりました。台風7号への対応による臨時休校では、保護者の皆様や子ども達にご迷惑をおかけしました。大きな被害がなくて、胸をなで下ろしています。



日曜参観、親子ふれあい活動、救急法講習会へのご参加、ありがとうございました。

6月24日(日)は、授業参観(3年、4年、たけのこ学級)、親子ふれあい活動(1・2年、5・6年)、救急法講習会等にご参加いただき、ありがとうございました。多くの方のご参加で、子どもたちは嬉しそうでした。



【救命救急法を学ぶ4・5・6年生】

「学習参観アンケート」に書かれていたことを、いくつかご紹介いたします。

- 親子ふれあいの時間「サイエンス・ショー」は、みんな仲よく楽しそうでした。(1年保護者)
- みんなが競い合うような感じで、のびのびと学校生活を楽しんでいる様子が伺えました。転校生の響子さんも早くクラスに慣れて、5人のスーパー3年生のクラスになる事を願っています。(3年保護者)
- 5・6年生は、親子ふれあい活動で「陶芸体験」をしました。陶芸の先生がひとつずつ丁寧に教えてくださったので、分かりやすく楽しく作ることが出来ました。出来上がりが楽しみです。(5年保護者)
- 下川先生との算数のお勉強でした。先生との距離も近く、ゆっくり丁寧に教えてもらっていました。(たけのこ)

第2期『下田っ子農園』始動!! 5年生が、田植えをしました!

昨年度、PTAの方々を中心に、学校敷地内の土地を耕して、「学校農園」を作っていただきましたが、今年もさらに田んぼを拡張し、第2期生の5年生が「米作り」に挑戦しています。



【力を合わせて田植えをする5年生】

6月27日(水)に「田植え」を行いました。当日も、保護者の指導や見守りの中、子どもたちは、丁寧に育てた苗を植えていました。すぐ横のプールでは、1・2年生が合同体育で水遊びやもぐり、バタ足練習などに興じており、まさに「下田っ子の夏」がやってきたという感じです。

本年度は、2月3日(日)に行われる「食と農を結ぶ大川・城島・大城地域フォーラム」において、下田小学校の米作り体験活動も発表する予定です。PTAの方々の協力のもと、米作りを通して学んだ事を「下田っ子米」を作る第2期生が、しっかり発信してくれると期待しています。

～ 下田小学校は、安心安全な場所 ～

「校長先生、あそこにツバメの巣があるよ。」

2年生の菜瑠美さんが指さす方向を見ると、校舎の一角にツバメの巣が…。そして、中からは巣からはみ出しそうに成長したツバメのひなが顔を出しています。

「ほんとだ。ツバメって、敵から身を守るために、安心安全な場所に巣を作るのよ。」と応えると、「だから、校長室の上に【校長室の外のツバメの巣】巣を作っているんだね。」と菜瑠美さん。下田小学校の中は、どこに巣を作っても安心安全です。心が温かくなったひとこまでした。



【校長室の外のツバメの巣】